

国際マイクロ統計データベースの整備と利用

情報・システム研究機構／統計数理研究所 岡本 基

統計数理研究所 山下 智志

情報・システム研究機構は(公財)統計情報研究開発センターと連携協力協定を締結し、平成26年7月より共同で「国際マイクロ統計データベース」の試行提供を実施している。

平成25年1月、シンフォニカの伊藤彰彦理事長が日本側の代表者となり、アジア9ヶ国の統計局長と覚書を交わし、各国からの協力を受けて、この度の試行提供を実現した。

同データベースは、主に各国の家計調査のマイクロデータを匿名化し、「情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 社会データ構造化センター 統計数理研究所・オンサイト解析室」において、オンサイト利用の形態で提供している。

現在、インドネシア SUSENAS 2006、スリランカ HIES 2009、タイ THSES 2007 / 同2011、ベトナム VHLSS 2006、カンボジア CSES 2009、ネパール NLSS II 2003 の7データを提供しており、今後も拡充を予定している。

本報告では、「国際マイクロ統計データベース」の概要、申請・利用方法、オンサイト解析室に関する情報、年度末に開催する「国際マイクロデータワークショップ」、等について報告する。

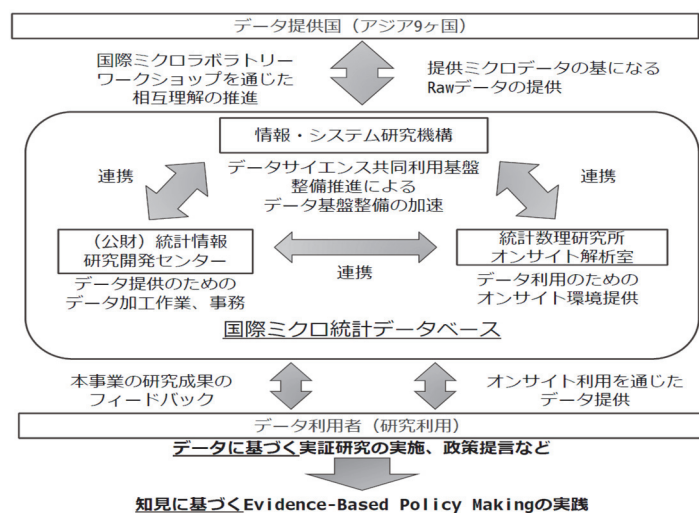


図1. 国際マイクロ統計データベースの提供体制

<参考 Web サイト>

- 「国際マイクロ統計データベースの利用」,
http://www.sinfonica.or.jp/information/research/index_database.html
- 「公的統計のマイクロデータ利用」,
<http://www.rois.ac.jp/tric/micro/>